

春日井市における 名古屋大学と連携した 新たなモビリティを活用した取組

春日井市副市長/マイモビリティ共創拠点プロジェクトリーダー補佐

加藤 達也



基本情報

- ・位置 愛知県北西部、名古屋市に隣接
- ・人口 309,011人（令和4年4月1日現在）
- ・面積 92.78 k m²



特色

- ・その① 平安時代の書の三跡「小野道風」の生誕伝承地である「書のまち」
- ・その② 全国的にも珍しいサボテン実生栽培生産地
- ・その③ 市街化区域中約76%を土地区画整理事業で整備



©Kasugai City 2008

書のまち春日井「道風くん」





区域概要

- ・名古屋市中心部から20km圏内
- ・面積は約700ha（春日井市域の約8%）
- ・中心部に商業施設を集約したワンセンター方式
- ・日本三大ニュータウンに数えられる

高蔵寺駅から
名古屋駅まで

JRで**最速26分**



課題

- まちびらきから50年以上が経過、インフラや住環境は良好だが、初期の入居者が一斉に高齢化
- 区域内人口は年々減少傾向
(H7 約52,000人→R4 約42,500人)
- 坂道が多く、買い物や病院への移動は自家用車に依存
- 免許返納後の将来の移動手段に不安
- 路線バスの運行本数減少 (ピーク時の3/4)



高蔵寺リ・ニュータウン計画

2016年3月、今後NTで取り組むべきプロジェクトをまとめた行政計画

主な実績

- ・2018 旧小学校施設多世代交流拠点整備（グループふじとう）開所
- ・2022 旧小学校施設の生活利便施設等整備（～2024）

今後の検討課題

- ・J R 高蔵寺駅の周辺再整備



高蔵寺ニューモビリティタウン構想

- ・産学官連携により自動運転を含む新たなモビリティサービス導入
- ・新たなモビリティサービスと既存交通とのベストミックス（モビリティ・ブレンド）を模索
- ・ニュータウンの特性に応じた、ニュータウン版MaaSの構築を目指す



ゆっくり自動運転送迎サービス

- ・2017年度以降、高蔵寺ニュータウンをフィールドに実証実験
- ・2022年8月 サービス担い手として地元住民によるNPO法人の設立
- ・2022年10月～有償運行開始、2023年2月～自動運転開始



NPO法人の皆さん



MaaSウェブアプリ『move! かすがい』

- ・愛知県スマートシティモデル事業を活用、2023年1月～サービス展開
- ・デジタルチケット・クーポン、オンデマンド交通との連携など



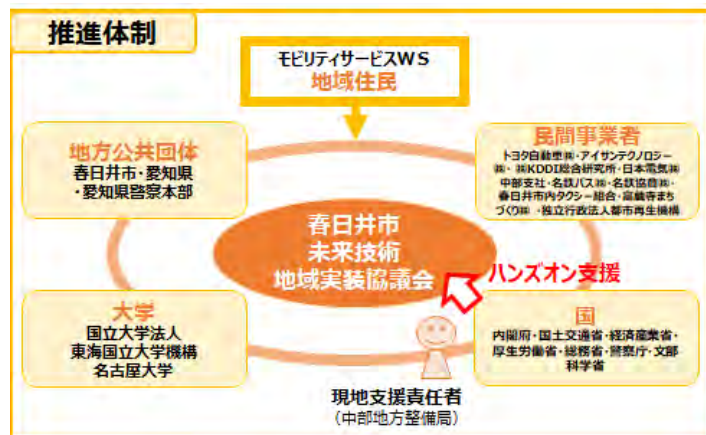
モビリティポート

- 国土交通省スマートシティ実装化支援事業を活用し、2023年1月末から約1か月間、実証実験を実施
- 5か所にタッチパネルディスプレイを設置



地方創生推進交付金（Society5.0タイプ）

- ・2020年度～2024年度、名古屋大学との事業推進に活用
- ・共同研究によりモビリティサービスの実装を目指した事業を進める




事業内容

地域課題

○ニュータウンの高齢化率は約32%で、増加傾向。坂道や起伏が多い地理的特性により、高齢者等の外出機会の減少が懸念される。

○ニュータウン内の基幹交通である路線バスの運行本数は、ピーク時（H7）と比較し、約3/4にまで減少。免許返納後の移動手段の確保が必要。

未来技術を活用した取組



・ラストマイル自動運転、AIオンデマンド乗合サービスの社会実装、交通拠点、MaaSアプリ等の調査研究を行う各種プロジェクトを展開し、地域課題の解決へ。

地方創生に資する効果と目指す新たな社会システムの姿

○新たなモビリティサービスと既存交通とのベストミックス（モビリティ・ブレンド）によるニュータウン型のMaaSの構築。

○先進技術による快適なまちづくり『高蔵寺ニューモビリティタウン』を目指す。

主な実装計画等 ※本格実装に向けた、主な実装計画等を各年度毎にご記載ください

2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
△ラストマイル実証	→	▲試験運行（持続可能なスキーム検討、ハード整備）	→	★本格運行
△AIオンデマンド実証	▲試験運行（他事業者との連携による事業性検証）	→	→	★本格運行
△基幹交通検討（他のモビリティサービスを組み合わせた交通拠点づくり検討、実証）	→	→	→	▲環境整備
△MaaSアプリ連携検討	→	▲試験運用（PF構築、コスト検証）	→	★本格運用
				NT版 MaaS本格実装

申請までの実績

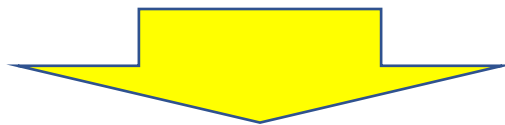
- ・国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学との共同研究による自動運転等モビリティブレンドの研究、モビリティタウン構想事業の推進
- ・未来技術地域実装事業、スマートシティ、モビリティチャレンジ等各種モデル事業との連携、プロジェクト展開

名古屋市、岐阜市などとの広域連携

- ・名古屋東北回廊プロジェクト含むフラッグシッププロジェクトなど、他地域と一体的な事業推進に期待

移動問題への主体的な関わり

- ・移動問題に主体的に関わり、作り上げる移動手段が「マイモビリティ」
- ・ラストマイル送迎サービスの実装など、大学、地域、行政の協働により共に作り上げるサービスが今後も重要になると認識



『COI-NEXT』『連携と協力に関する協定』など、あらゆる枠組みで今後も共同で事業を推進していきたい

御清聴ありがとうございました

春日井版MaaSウェブアプリ
『move! かがい』
はコチラ



『高蔵寺ニューモビリティタウン構想』
PR動画はコチラ
(春日井市公式ホームページ)

